

朝日印刷のASAHI NEWS。コラムや印刷に関する情報をお届けします。

探訪、作家水野政雄先生と 郡上八幡 Vol.1

岐阜県の中間部に位置する郡上市八幡町。市街地奥の郡上八幡城、旧庁舎記念館や郡上おどりの歴史を紹介する博覧館、清水をシンボルにした宗祇水など、観光地飛騨高山をコンパクトにしたような街並みに城下を流れる風は、落ち着いた風情と居心地の良さを感じさせる。決して大きくはない本通りの道幅に、夏場は連夜延べ20万人もの観光客で埋め尽くされるという日本三大盆踊りの郡上おどり。今年の夏も街はにわかには活気づくことだろう。しかし今日の八幡町はまだその眠りのまま、普段着の生活が営まれている。

閑話休題。さてこれから水野政雄先生にお会いする。

絵本作家にしてペーパークラフト作家、数々のイベントを開催しTVの教育番組にも多数出演されている多忙でマルチな水野政雄先生とのお縁は、知り合いのデザイナーを通じて、先生の絵はがきの印刷作成依頼からだった。絵

はがきは全部で6種類、郡上おどり、宗祇水、吉田川の夏などいずれも郡上八幡を代表する風物詩を水彩画で描いた6点を1セットとし、表紙カバーを付けたもので完成品とするものだ。原画の校正刷り(色の差異などの確認用の仮の印刷)の絵はがきを拝見させていただくと、計算された構図や緻密な彩色はどれも秀逸、懐かしい風合いの昔絵の表紙が郡上八幡を素敵に描いている。ご自宅は街の本通りに面した長屋風の佇まい。通された高い吹き抜けの土間、間接照明にうかぶいくつかの大風、住居というよりはアトリエ風の玄関に、水野政雄先生は笑顔で私達を出迎えてくださった・・・

次回につづく
*紙面の都合上今回はここまで。次回はさらに興味深い先生との逸話をお届けします。

(飯島英樹)



印刷物に定価はある？



印刷物の金額は、個々オリジナル商品を作っていくという性質上、均一化を図ることは難しいとされています。しかし基本となる計算方法はどの企業も同じなのでベーシックなものを紹介していきます。印刷物が出来上がるには下記のような工程が有ります。

- ① **プリプレス**：印刷以前の工程の総称で、規格やデザイン版下作製などが有ります
- ② **プレス**：紙などに印刷することの総称で、一般の印刷物は平版印刷(オフセット)が多くあります
- ③ **ポストプレス**：紙などに印刷されたものを仕上げる事でカタログや冊子等、印刷物を完成させることです。

以上が印刷物が出来上がる流れですが、①～③までの工程の中で更に細分化された作業が有ります。それぞれの工程に料金が発生し、その合計が印刷物の金額となるわけです。

(大道慎治)



朝日印刷株式会社

本社 〒911-0802 福井県勝山市昭和町3丁目2番63号1
TEL0779-87-0027(代) FAX0779-87-1561

大野営業所 〒912-0045 福井県大野市若杉町116
TEL・FAX0779-66-2538

松岡営業所 〒910-1133 福井県吉田郡永平寺町松岡春日2-125-2
TEL0776-61-0680